

地域とともにある学校

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2021/11/10（水）発行

校長通信 NO13

北海道日高高等学校
谷 尊 仁

魅力ある学校づくりを目指して

後半戦！順調にスタート

9月までは、コロナ禍の中で昨年同様に制限の多い中での活動でしたが、10月になって国の「緊急事態宣言」も解除され、教育活動も感染対策を行った上で、やっと通常に近い状態で行うことが可能になりました。

10月30日（土）には、昨年度実施できなかった「PTA研修会」を出来る範囲でしたが開催することが出来ました。参加して頂いた保護者の皆様におかれましては、全国・全道から来校いただき本当に有り難う御座いました。

来校いただいた保護者の皆様とは、短い時間でしたが担任と対面での懇談が出来て、寮や学校でのお子様の状況や進路希望等を確認するなど情報交換が出来たのではないかと思います。

当日は産業学習で練習してきた「山岳太鼓」を披露することも出来て、生徒たちの日頃の頑張りが感じただけだと思います。

生徒たちも約2ヶ月ぶりに短い時間でしたが、保護者の皆様と会い、顔を見ながら話すことが出来て精神的にホッとした時間を過ごせたのではないのでしょうか。

また、予定より約1ヶ月遅らせた2年生の見学旅行も11月8日（月）～12日（金）まで行き先を長崎に変更して実施することが出来ました。

今後については、状況にもよりますが、当初の予定通りに日高町教育委員会と連携を取りながら教育活動を行い、生徒たちが充実した学校生活を送れるように教職員の力を合わせて頑張っていますので、保護者の皆様のご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

〈山岳太鼓 披露〉



Society5.0時代に向けて

文部科学省では、Society5.0時代を生きる全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するためには、学校現場におけるICTの積極的な活用が不可欠との観点から「GIGA スクール構想」を推進しているところであり、関係各位の御尽力により、本年4月から、全国のほとんどの義務教育段階の学校において、児童生徒の「1人1台端末」及び「高速大容量の通信環境」の下での新しい学びが本格的にスタートする見込みとなっています。

（令和3年3月12日付け2文科初第1962号

文部科学省通知 より）

「Society5.0」とは、「～今後、一般家庭や職場、都市空間も含めてあらゆるところで多様なロボットが活躍し、人間が行ってきた定型的な作業はAIとロボットによって代替・支援が可能となる。自動走行を実装した自動車などは、ロボットの一種と考えられる。このように、AIなどがロボットを通じてあらゆる領域に取り入れられることで、さまざまなモノが知能を有するようになり、社会のスマート化が進んでいく。～」（「Society 5.0 —ともに創造する未来—」2018年11月13日経団連 抜粋）

子供たちが、このような社会の変化に対応し「社会で生きていく資質・能力」を身に付けるために学校（高校）で何をどのように取り組んでいくのか、「一人一台端末」を有効に活用し、単なる調べ学習の道具にせず、「創造する力」「協働する力」「コミュニケーション能力」を高めていくように支援できる学校教育を実現していく方策を「道具（ICT機器）ありき」ではなく、「道具（ICT機器）の活用」を教職員で知恵を出し合いながら、効果的に活用できる方法を検討してまいります。

